

6年「わたしのせいじゃない」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…主題発問と関連して、道徳的価値の言葉を入れた問いや話をします
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- 広げる・深める**…展開前段の学びを想像的に広げたり、展開前段の学びを吟味して深めたりして、主題発問への答えを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぐ一言**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れたり、道徳的価値を入れる振り返りの観点を説明したりして、自分との関わりで振り返りを行うことができるようにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	人として人を考えよう	人としていじめを考えよう	
導 入	私たちは、人として、他の人のことをどのように考えなければならぬのでしょうか	いじめのない学級や学校をつくるには、どのような考え方が必要か考えましょう	
展 開 前 段	○その子どもは、どういう理由で叩かれたのでしょうか ○叩かれている間、この子は、どんなことを思っていたのでしょうか ○①～⑭の子どもは、自分はよくても、人として許されないのは、どういうところでしょう		
広 げ る ・ 深 め	○①～⑭の子どもは、叩いた子どものことをどのように思っていたのでしょうか ○元々、この子どもたちのクラスは、どのような雰囲気があったのでしょうか ○叩いた子どもたちは、どういう思いや気持ちがいかなかったのでしょうか		

る			
展開後段	人は、他の人をどのように考えなければならないのでしょうか	いじめのない学級や学校にするには、私たちは、どのように考えなければならないのでしょうか	
つなぐ一言	私たちの前にいるのは人ですね。これからも、そのことをしっかりと考えていきましょう。皆さんなら、きっと分かるはずです		
	・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、みんなと一緒にやってみたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、どんな自分になるとステキだなどと思いますか では、振り返りを書きましょう		
振り返り			